古致古坐 ララニジイントシ

評価対象年度	平	- 成22 年度		事務事3	ミマネージメ	ントシート	作成日	平成23 年 (	04 月 15 日			
事務事業名	プラ	ネタリウム2	2開事業			担当	教育委員会 科学教育センター					
政策名	В	学びと歴史	・文化が豊かな心	を育むまちづくり		電話番号	0285-83-6611					
施策名	1	生涯学習の	推進			実施計画上の主要事業						
基本事業名							□ 単年度のみ					
法令根拠	真岡市科学教育センターの設置、管理及び使用条例					事業期間		5 年度~)				
予算科目	1.一般会計 10		10.教育費	4.社会教育費	4.社会教育費	3.51674312	□ 期間限定複数年度(	年度~	年度)			
事業概要	導を集 等の長 施し、	中的に実施する 期休業中の午 平日午後は幼	る施設であり、通常は市 前11時と午後1時30分の 俳園等を対象とした団体	5内の小・中学校が授業 1日2回、おとな <高校 な観覧にも対応している	に利用している。・こ 生以上>200円、子ども 。・毎年6月15日の「木	のうちプラネタリウ <4歳~中学生>100円 5木県民の日」直近σ	全児童生徒に対し学校教育の一環として理 ムについては、生涯学習の一環として、社 で一般住民に公開している。 ・年数回、花 り土曜日、日曜日には、県民の日協賛事業 一ほか補助投影機、音響機器。	二曜日、日曜日、夏 77時からの夜間公	【休み 開を実			
1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標												
① 手段(主な活動	1)			⑤活動	指標(事務事業の活動	量を表す指標) の推	移					

1. 瑪	状把握	を	)事務事業の目的	と指標										
①手段(主な活動)				⑤活	動指標(事務事業の活	動量を表す指標) σ	推移							
22年度実績 ・金曜日・土曜日、日曜日、夏休みにブラネタリウム投影(当日の星 座解説と映像番組)を実施した。 ・平日午後に団体観覧を受け入れ、年2回の夜間公開及び県民の日協賛事業として2日間4回の無料公開を実施した。 ・12月にはクリスマ公開を実施した。 ・12月にはクリスマ公開を実施した。 ・12月にはクリスマ公開を実施した。 ・12日にはクリスマ公開を実施した。 ・12日にはクリスマ公開を実施した。 ・2日程・内容等はチラシや市広報紙、科学教育センターホームページ等で広報した。プラネタリウム本体4軸用サーボドライバー等の交換修繕をおこなった。					名称		_	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23年度(見込)		
				ア	ア 公開回数(夜間、県民の日、団体を含む)			86	145	125	99	99		
				1	観覧者数(夜間、県民の日	、団体を含む)	٨	1768	3191	2712	2874	3950		
				ゥ	ウ観覧料			174	301	243	262	270		
				エ	工 夜間公開回数			0	2	2	2	2		
・原則、母工唯口に美施すた。また、イベフト時の公開は前年同様に美施する。 平成23年5月から平成24年3月まで年間を通してプラネタリウム投影を 行なう。				才	才 夜間公開観覧者数 人 0					125	168	175		
② 対象	(誰、何	何を対象に	しているのか)*人や自	自然資源等		6対	象指標(対象の大きさ	を表す指標)の推移						
市民	. NFT	A.TA.	M.3.14	Tirrica			名称			19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23年度(見込)
						アイ	市民の数			66686	66712	82997	82584	82126
				ウェ										
②音図	(7 M)	声禁に トン	て、対象をどう変える	(D41)		才	果指標(対象における	辛回せれた対象の殺	中/ の推	-19				
			ことにより、天体への ことにより、			. OPA:	米担保 (対象における) 名称	息囚に1いたバッスシッパラ	単位		20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23年度(見込)
	を向ける		CCICA J. Arr	ノ扶がいてんこし、	U. D. M. 1-1-	ア	天体への関心を高めた観覧	者の割合	%	45.0	48.3	49.2	49.5	49.5
							イ 定員充足率			12.7	13.3	13.5	17.6	18.0
						ウ								
						エ								
④ 結果	(どんた	た結果(上位	立施策)に結びつけるの	<b>のか</b> )			■ <sup>2</sup> : ■ 8上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) の							
			関心が深まり、生涯学		育つ。		名称		単位	19 年度(実績)	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23年度(見込)
							生涯学習に取り組んでいる	市民の割合	%	23.7	24.3	24.5	24.5	24.5
!						1								
						ウェ								
						エオ								
(2) 総	事業費	の推移		単位	19 年度/宝	オ	20 年度(宝)	速) 2	年度(宝)	書/	22 在度(3	宇緒)	23 年度	·····································
(2) 総	事業費		国庫支出金	単位千円	19 年度(実	オ	20年度(実績		年度(実統	責) 0	22 年度(到	<b>ミ績</b> )	23 年度	
T		1	国庫支出金 県支出金		19 年度(実	オ	20年度(実績	費) 2:	年度(実統		22 年度(到	<b>⋛積)</b> 0 0	23 年度	(見込) 0
	事源			千円	19 年度(実	オ	20年度(実施の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	年度(実統	0	22 年度(月	<b>実績</b> ) 0	23 年度	0
			県支出金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円	19 年度(実	エ オ: <sup>注</sup> 績)	0	0 0	年度(実統	0	22 年度(月	0	23 年度	0
T	事源		県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	19 年度(実	エ オ : : : : : : : : : : : : : : : : : :	0 0 0 174 219	0 0 0 0 301 858	年度(実	0 0 0 243 3,434	22 年度(月	0 0 0 262 1,377	23 年度	0 0 0 0
	事源	事業費	県支出金 地方債 その他 一般財源 費計 (A)	千円 千円 千円 千円 千円	19 年度(実	エ オ : : : : : : : : : : : : : : : : : :	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 301 858 1,159	年度(実	0 0 0 243 3,434 3,677	22 年度(身	0 0 0 262 1,377 1,639	23 年度	0 0 0 0 0
	事業費	事業費正規則	県支出金 地方債 その他 一般財源 貴計 (A) 職員従事人数	千円 千円 千円 千円 千円 千円	19 年度(実	エ オ : : : : : : : : : : : : : : : : : :	0 0 0 174 174 179 179 179 179 179 179 179 179 179 179	0 0 0 0 301 858 1,159 3	年度(実	0 0 243 3,434 3,677 3	22 年度(引	0 0 262 1,377 1,639	23 年度	0 0 0 0 0 0
	事源	事業費正規	県支出金 地方債 その他 一般財源 貴計(A) 職員従事人数 べ業務時間	千円 千円 千円 千円 千円 十円 人 時間	19 年度(実	エ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ オ	0 0 0 0 174 174 179 1893 3 3 3 1004	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542	年度(実績	0 0 243 3,434 3,677 3 1,782	22 年度(引	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050	23 年度	0 0 0 0 0
	事業費 人件費	事業費正規即延人作	県支出金 地方債 その他 一般財源 計(A) 職員従事人数 べ業務時間 井費計(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	19 年度(実	エ オ : : : : : : : : : : : : : : : : : :	0 0 0 1774 1784 1799 1899 1899 1899 1899 1899 1899 1899	0 0 0 0 301 858 1,159 3	年度(実績	0 0 243 3,434 3,677 3	22 年度(月	0 0 262 1,377 1,639	23 年度	0 0 0 0 0 0
投入量	事業費 人件費	事業費正規即延ん作	県支出金 地方債 その他 一般財源 計(A) 計員従事人数 べ業務時間 +費計(B) スト(A)+(B)	千円 千円 千円 千円 千円 十円 十円	19 年度(実	エ オ オ 1 2 3 9 3,7	0 0 0 1774 1784 1799 1899 1899 1899 1899 1899 1899 1899	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442	年度(実	0 0 0 243 3 434 3 677 3 1 1,782 7 ,228	22 年度()	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0 0
投入量	事業費 人件費 務	事業費正規則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	県支出金 地方債 その他 一般財源 計 (A) 職員従事人数 べ業務時間 井費計 (B) スト(A)+(B) 化・市民意見等	千円 千円 千円 千円 千円 人 時間 千円		ユニス オン ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	0	0 0 0 301 868 1,159 3 1,542 6,442 7,601		0 0 0 243 3 434 3 677 3 1 1,782 7 ,228	22 年度(手	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0 0
投入量 (3)事	事業費 人件費 務 事務	事業費正規即延ん作	県支出金 地方債 その他 一般財源 計 (A) 職員従事人数 べ業務時間 井費計 (B) スト(A)+(B) 化・市民意見等	千円 千円 千円 千円 千円 人 時間 千円		ユニス オン ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	0 0 0 1774 1784 1799 1899 1899 1899 1899 1899 1899 1899	0 0 0 301 868 1,159 3 1,542 6,442 7,601		0 0 0 243 3 434 3 677 3 1 1,782 7 ,228	22 年度(引	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0
投入量 (3)事 (c)このき	事業費 人件費 務 事っかい 業 事がい	事業費正規則を受ける。	県支出金 地方債 その他 一般財源 計 (A) 職員従事人数 べ業務時間 井費計 (B) スト(A)+(B) 化・市民意見等	千円 千円 千円 千円 千円 人 時間 千円		ユニス オン ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	0	0 0 0 301 868 1,159 3 1,542 6,442 7,601		0 0 0 243 3 434 3 677 3 1 1,782 7 ,228	22 年度(引	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0
投入量 (3)事 (2のき いつご	事業費 人件費 務 事っかい 業 事がい	事業費 正規 延作トータルコ で、環境変 業を開始 なる経緯で	県支出金 地方債 その他 一般財源 計 (A) 職員従事人数 べ業務時間 井費計 (B) スト(A)+(B) 化・市民意見等	千円 千円 千円 千円 千円 人 時間 千円		ユニス オン ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	0	0 0 0 301 868 1,159 3 1,542 6,442 7,601		0 0 0 243 3 434 3 677 3 1 1,782 7 ,228	22 年度(引	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0
投入量 (3)事 ①このたきこいつご	事業費 人件費 務 事っろろ	事業費 正規 延作トータルコ で、環境変 業を開始 なる経緯で	県支出金 地方債 その他 一般財源 計 (A) 職員従事人数 べ業務時間 井費計 (B) スト(A)+(B) 化・市民意見等	千円 千円 千円 千円 千円 人 時間 千円		ユニス オン ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	0	0 0 0 301 868 1,159 3 1,542 6,442 7,601		0 0 0 243 3 434 3 677 3 1 1,782 7 ,228	22 年度(月	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0
投入量 (3) 事 のきご たつ始さ	事業費 人件費 事務かどのた	事業類延ん作トータルコでの環境を関する。	県支出金 地方債 その他 一般財源 計(名) 職員従事人数 べ業務時間 ‡費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育	千円 千円 千円 千円 千円 八 時間 千円 センター開所	「から、プラネタ! 5日制導入により、	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し		0 0		0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0
投入量 (3) 事 ① このきごさ ②事務	事業費 人件費 務 事っろろれたのた 業	事業費 正規 延作トータルコ で、環境変 業を開始 なる経緯で	県支出金 地方債 その他 一般財源 酸請(事人数 べ業務時間 +費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育	千円 千円 千円 千円 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がら、ブラネタ! 5日制導入により、 ロジェクターを平	- エー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し		0 0		0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481	23 年度	0 0 0 0 0 0
投入量 (3) こたつめさ 事のきごささ 務(() 次令等	事業費 人件費 務事っろれ 事対は 業事 非けんか を者う	事業規則 上海 東美規 延作 トータ 境 を 開かって 変を 開かって で く はなか。 取り根地て	県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の	千円 千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がら、プラネタ! 5日制導入により、 ロジェックター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0
投入量事のきでさい事のきできる事況等のが金なまのきできるなまのきできるまのきをできるまのきできるまのきをできるまのきできるまのきをできるまのきできるまのきをできるまのきできるまのきをできるまのきできるまのきをできる <tr< td=""><td>事業費 人件費 務事つろれた事対は、事務かどたのを著象ど開業事がとたのを者う始</td><td>事業規延人作力変 業のない。 取や変時期を変ける ない。 取や変ける がっている はいかい はい はい</td><td>県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の</td><td>千円 千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td><td>がら、プラネタ! 5日制導入により、 ロジェックター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td></td><td>0 0 0 174 219 33 3 3 304 787 180 に、生涯学習の一環とし の公開回数を午後1回が 度に更新したほか、平成</td><td>0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し</td><td>た。 回とし年</td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td><td>び増えた。</td><td>0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120</td><td></td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0</td></tr<>	事業費 人件費 務事つろれた事対は、事務かどたのを著象ど開業事がとたのを者う始	事業規延人作力変 業のない。 取や変時期を変ける ない。 取や変ける がっている はいかい はい	県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の	千円 千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がら、プラネタ! 5日制導入により、 ロジェックター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0 0 0 174 219 33 3 3 304 787 180 に、生涯学習の一環とし の公開回数を午後1回が 度に更新したほか、平成	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0 0
接入量 事のきでさ 務()から5	事業費 人件費 務事つろれ 事対は、年 事務がどんが を者う始と	事正延行 事業 業規 延作 人 小 変 業 が なか。 取や変時比 地板 化 期 べ く 法 て る ど	県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の	千円 千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がら、プラネタ! 5日制導入により、 ロジェックター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0 0
接入量 事のきでさ 務()から5	事業費 人件費 務事つろれた事対は、事務かどたのを著象ど開業事がとたのを者う始	事正延行 事業 業規 延作 人 小 変 業 が なか。 取や変時比 地板 化 期 べ く 法 て る ど	県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の	千円 千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がら、プラネタ! 5日制導入により、 ロジェックター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0 0
接入量 事のきでさ 務()から5	事業費 人件費 務事つろれ 事対は、年 事務がどんが を者う始と	事正延行 事業 業規 延作 人 小 変 業 が なか 、 取や変時比 地 を が を と く 法 て る ど	県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の	千円 千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がら、プラネタ! 5日制導入により、 ロジェックター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0 0
接入量 事のきでさ 務()から5	事業費 人件費 務事つろれ 事対は、年 事務がどんが を者う始と	事正延行 事業 業規 延作 人 小 変 業 が なか 、 取や変時比 地 を が を と く 法 て る ど	県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の	千円 千円 千円 千円 千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がら、プラネタ! 5日制導入により、 ロジェックター 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0
接入量 事のきでさ 務()から5	事業費 人件費 務事つろれ 事対は、年 事務がどんが を者う始と	事正延行 事業 業規 延作 人 小 変 業 が なか 、 取や変時比 地 を が を と く 法 て る ど	県支出金 地方債 その他 一般財源 計員((4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	千円 千円 千円 千円 千円 円円 千一円 円円 千一円 円円 一	5日制導入により、 ロジェクターを平 制御機の更新を実 よりスライド映写 ていく必要がある		0 0 0 174 219 1933 3 3 304 787 180 広、生涯学習の一環とし 変に更新したほか、平原 デジタルプロジェクタ/ が老朽化して、故障が生	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0
接入量 (3) こたつ始 事況等のようか 3) こたつか のきごさ 務() か 5 5 わ の の の の の の の の の の の の の の の の の	事業費 人件費 務 事っろれ 事対は、年っ 事務がどんが を者う始との 事	事正 基業規 延作 力 環	県支出金 地方債 その他 一般財源  計(A) 職員従事人数 べ業務時間 申費計(B) スト(A)+(B) 化・市民意見等 平成5年の科学教育 ・平成5年の科学教育 ・平成14年9リ皮にのはブラ急 ・デジタル技術のターナ技術のターナ技術のタール技術の	千円 千円 千円 千円 千円 円円 千一円 円円 千一円 円円 一	5日制導入により、 ロジェクターを平 制御機の更新を実 よりスライド映写 ていく必要がある		0 0 0 174 219 1933 3 3 304 787 180 広、生涯学習の一環とし 変に更新したほか、平原 デジタルプロジェクタ/ が老朽化して、故障が生	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0
投入量事のきごさ務()からこり3) こたつ始事況等るは変こ関の係	事業費 人件費 務 事っろれ 事対は、年っ 事者 解がどた 業象ど開年た 務(年)	事正 英雄なか。 取や変時比か? 業民 を	県支出金 地方債 その他 一般財源 計員((4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	千円 千円 千円 千円 千円 円円 千一円 円円 千一円 円円 一	5日制導入により、 ロジェクターを平 制御機の更新を実 よりスライド映写 ていく必要がある		0 0 0 174 219 1933 3 3 304 787 180 広、生涯学習の一環とし 変に更新したほか、平原 デジタルプロジェクタ/ が老朽化して、故障が生	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0
投入量(3)① しい開②状令いいう③ て事事のきごさ 務() か5わ の係対の係対	事業費 人件費 務 事つろれ 事対は、年った 事者象 別源内訳 業 事けんんな 業象ど開前のな 事住、	事正 基業規 延作 力 環	県支出金 地方債 その他 一般財源 計員((4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	千円 千円 千円 千円 千円 円円 千一円 円円 千一円 円円 一	5日制導入により、 ロジェクターを平 制御機の更新を実 よりスライド映写 ていく必要がある		0 0 0 174 219 1933 3 3 304 787 180 広、生涯学習の一環とし 変に更新したほか、平原 デジタルプロジェクタ/ が老朽化して、故障が生	0 0 0 301 858 1,159 3 1,542 6,442 7,601 て一般公開を開始し で一般公開を開始し	た。 回とし年	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	び増えた。	0 0 0 262 1,377 1,639 3 1,050 4,481 6,120		0 0 0 0 0 0 0 0

## 2. 1 次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 ①政策体系との整合性 ■ 結びついている □ 見直し余地がある ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・生涯学習の一環として、プラネタリウム番組を一般公開している。 ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか? 目的妥当性評価 ②公共関与の妥当性 □ 妥当である □ 見直し余地がある ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・施設を活用し、市民に対して実施する生涯学習事業である。 ・税金を投入して達成する目的か? ③対象と意図の妥当性 □ 適切である □ 対象を見直す必要がある ■ 意図を見直す必要がある ・対象を限定・追加すべきか? ・市民を対象とした生涯学習の一環事業である。 ・意図を限定・拡充すべきか? ④成果の向上余地 □ 向上余地はない □ 向上余地がある ・成果を向上させる余地はあるか? 観覧者数を増やす。 ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか? ⑤廃止・休止の成果への影響 □ 影響がある□ 影響がない ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? ・近隣にプラネタリウム施設がないため、自然科学に触れ、興味を持つ機会が減少する。 有効性評 ⑥類似事業との統合や連携の可能性 ■ 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) ■ 類似事業はない ・他に、類似の形態の事務事業はないか? ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図る □ 他の事業と統合・連携ができる □ 他の事業と統合・連携できない ことができるか? ⑦事業費の削減余地 □ 削減余地がない □ 削減余地がある ・成果を下げずに事業費を削減できないか? ・投影にかかる最小限の経費である。 (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 効率性評価 ⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 □ 削減余地がない □ 削減余地がある ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・投影に必要な最少人員配置である。 ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど) 9 受益機会・費用負担の適正化余地 □ 公正・公平である □ 見直し余地がある 公平性評価 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? \_\_\_\_\_ ・観覧料として、おとな(高校生以上)200円、こども(4歳~中学生)100円を徴収している。 ・受益者負担が公正・公平になっているか? 3. 改革・改善方向の部 (1) 改革の方向性(改革案・実行計画) (3) 改革・改善による期待成果 □ 見直し(□:目的妥当性 □:有効性 □:効率性 □:公平性) □ 統合 □ 継続 観覧者数を増やす方策を実施する。 コスト 維持 増加 削減 向上 成果 維持 (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か?それをどう克服していくか? 1.プラネタリウムのPRを増やす。 2.リピーターを増やすため、魅力ある上映ソフトを購入、更新する。 低下 4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性) □ 記述説明不足(説明責任不充分) □ 評価内容が客観性を欠く □ 評価内容は客観的と言える (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 (2) 2 次評価者としての評価結果 (5) 改革・改善による期待成果 ①目的妥当性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり ②有効性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり □ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり コスト 維持 増加 削減 (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 (4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 向上 □ 廃止 □ 休止 □ 目的絞込み □ 目的拡充 成果 維持 □ 事業統廃合 □ 事業のやり方改善 低下 □ 予算削減 □ 予算増大 □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)